

置賜地域における糖尿病重症化予防事業 支援事例の実際



患者プロフィール

性別 男性 病名 2型糖尿病
 糖尿病性腎症3期b
 2008年治療開始

年齢 50代
 BMI 35.1

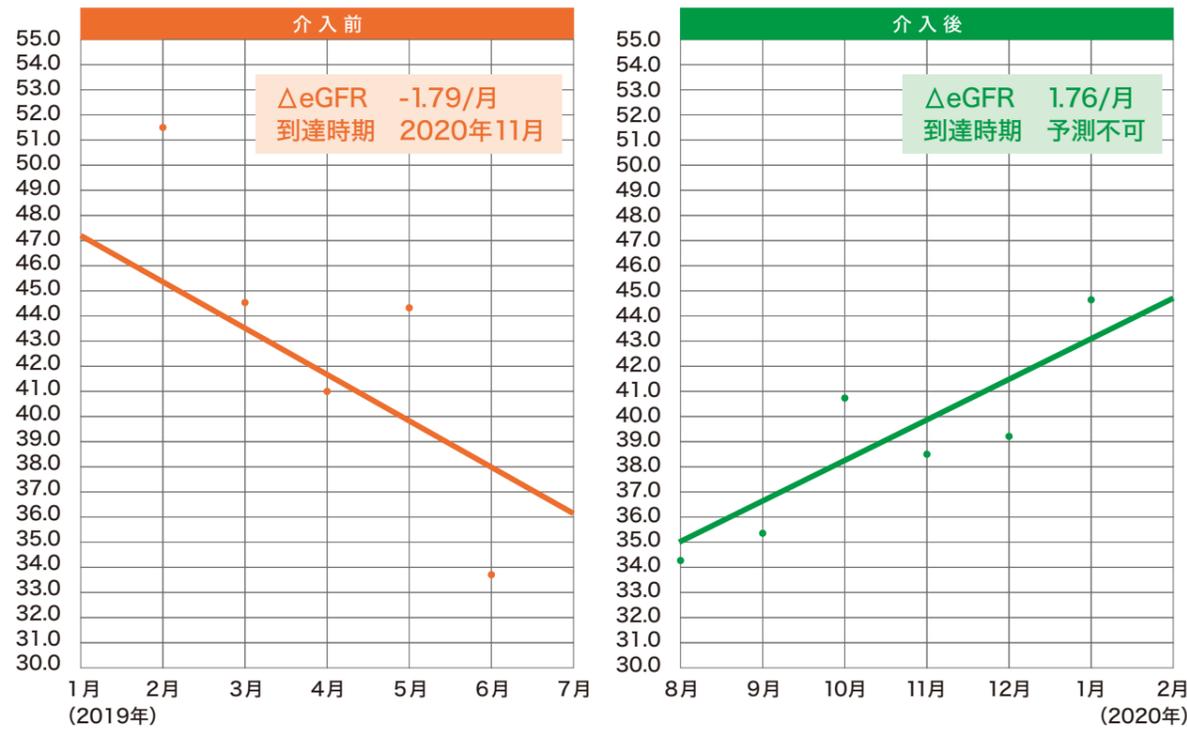
治療薬
 ● GLP-1受容体作動薬 ● SGLT2阻害薬
 ● ARB(アンジオテンシンII受容体拮抗薬) ほか

検査結果

血圧	131/69	HbA1c	8.1%
Cre	1.37mg/dl	eGFR	44.7ml/分/1.73m ²
尿蛋白	2+	TP	6.7g/dl
ALB	4.1g/dl	推定塩分 摂取量	7.8g/日

2020年1月

eGFRの推移



【本人の状況】

多くの役職を引き受け会が多い。食事の支度をしてくれる母に対し「こうして欲しい」と伝えることに抵抗がある。

本人の声

病院での指導と訪問指導があり、意識づけになった。

【支援内容】

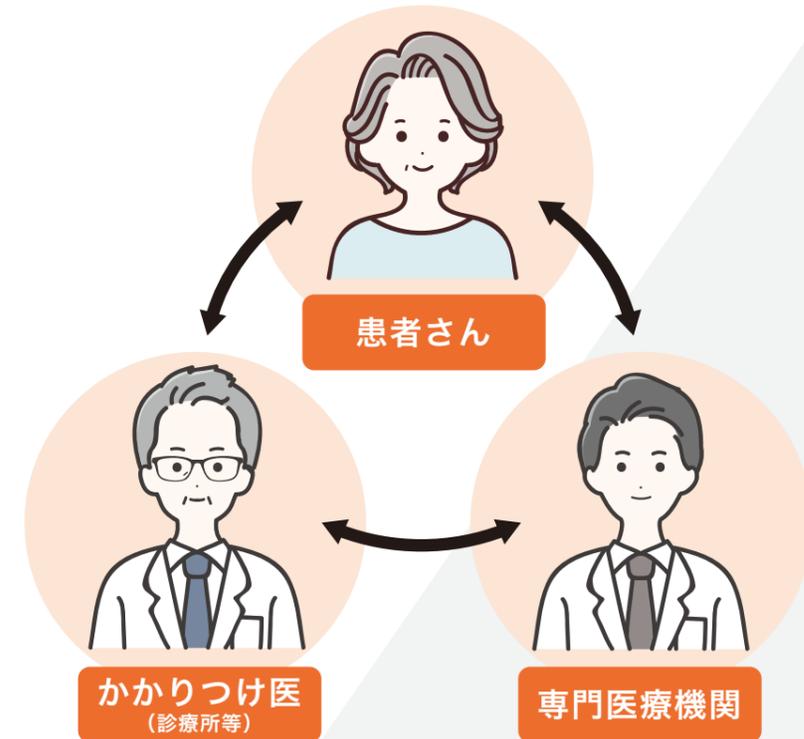
家庭訪問：3回
 減塩や食事の見直し、毎日の体重・血圧測定等について助言。

【カンファレンス等】

担当者事前打合せ 1回
 参加者 病院側：看護師、管理栄養士 保険者側：保健師、管理栄養士

カンファレンス 3回
 参加者 病院側：医師、看護師、管理栄養士 保険者側：保健師、管理栄養士

置賜地域における 糖尿病等重症化予防事業



置賜地域では、平成30年度から県のモデル事業として「公立置賜総合病院を核とした山形県糖尿病及び慢性腎臓病(CKD)重症化予防事業」に取り組んで参りました。

具体的には、当該病院において抽出した5年以内に透析導入見込みのハイリスク患者に対して、医師はGLP-1受容体作動薬等を用いた腎保護治療を行い、市町等の保健師や管理栄養士は家庭訪問により減塩と脱水予防の指導を徹底するという、地域が一体となった取り組みです。透析導入時期による評価で、6カ月以上遅らせることができたものを改善としたところ、平成30年度から関わった13人中11人に改善が認められ、糖尿病性腎症3期であっても人工透析への移行を遅らせることが可能であることを実感しました。

今後は、多くの先生方の御協力を得ながら、置賜地域一丸となり、糖尿病重症化予防に取り組んで参りたいと考えておりますので、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

山形県置賜保健所 医療監(兼) 所長 山田敬子

発行
問合せ

山形県置賜保健所 保健企画課 TEL 0238-22-3004
 〒992-0012 山形県米沢市金池7-1-50 FAX 0238-22-3003



山形県置賜保健所
ホームページ

医師会への先生方へのお願い

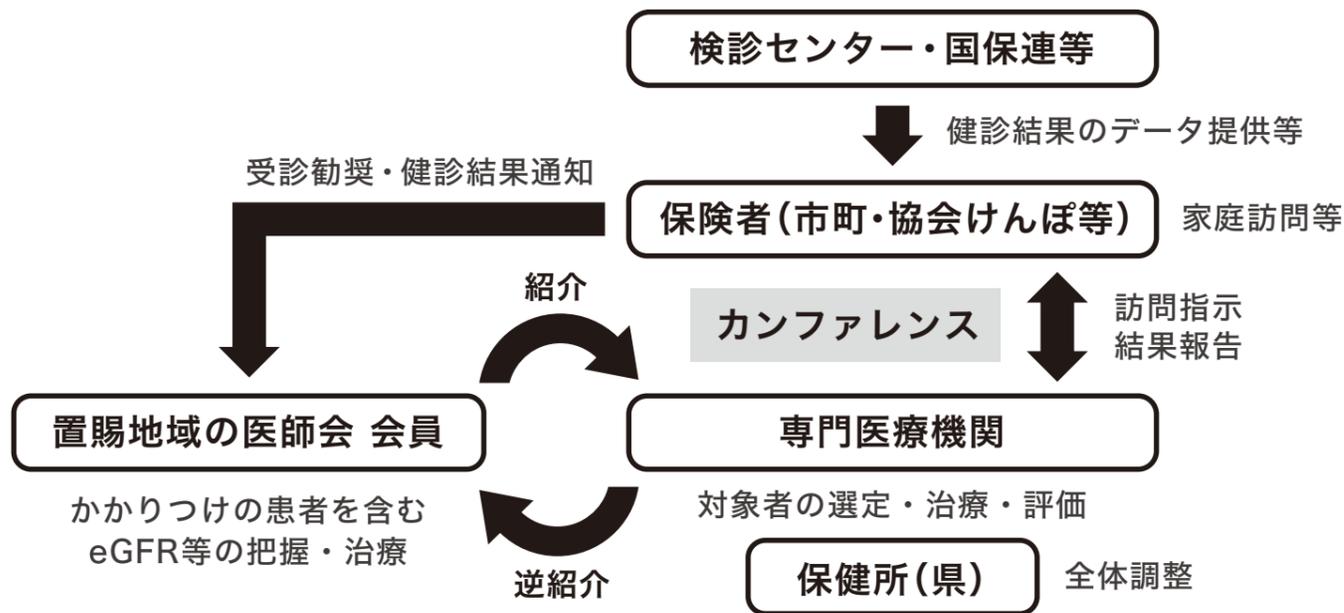
糖尿病患者様への定期的な検査の実施

・半年毎の「尿蛋白検査」と「eGFRの評価」 ・年1回以上の「尿中アルブミン検査」

腎臓専門医・専門医療機関への紹介基準に該当する方の紹介等



置賜地域における糖尿病等重症化予防事業 ～関係機関の連携イメージ～



糖尿病に関する県健康増進計画「健康やまがた安心プラン」の目標及び現状

【糖尿病性腎症による合併症の減少】

単位：人

評価指標	現状値 (H22)	目標値 (H34)
糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数	94	90

【糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の推移状況】

単位：人

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
全国	16,247	16,803	16,171	16,035	16,809	16,072	16,103	16,492	16,122	16,019
山形県	94	123	127	127	96	120	117	136	140	132
置賜管内	—	—	—	—	—	—	—	31	25	27

「全国」「山形県」の出典：日本透析医学会ホームページ
「置賜管内」の出典：山形県医療政策課「透析医療に関する調査結果」

かかりつけ医から腎臓専門医・専門医療機関への紹介基準

作成：日本腎臓学会

監修：日本医師会

平成30年2月27日に日本腎臓学会および日本糖尿病学会ホームページに公開

原疾患	蛋白尿区分	A1	A2	A3		
糖尿病	尿アルブミン定量 (mg/日) 尿アルブミン/Cr比 (mg/gCr)	正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿		
		30未満	30～299	300以上		
高血圧 腎炎 多発性嚢胞腎 その他	尿蛋白定量 (g/日) 尿蛋白/Cr比 (g/gCr)	正常(-)	軽度蛋白尿(±)	高度蛋白尿(+～)		
		0.15未満	0.15～0.49	0.50以上		
GFR区分 (ml/分/1.73m)	G1	正常または高値	≥90	血尿+なら紹介、蛋白尿のみならば生活指導・診療継続	紹介	
	G2	正常または軽度低下	60～89	血尿+なら紹介、蛋白尿のみならば生活指導・診療継続	紹介	
	G3a	軽度～中等度低下	45～59	40歳未満は紹介、40歳以上は生活指導・診療継続	紹介	紹介
	G3b	中等度～高度低下	30～44	紹介	紹介	紹介
	G4	高度低下	15～29	紹介	紹介	紹介
	G5	末期腎不全	<15	紹介	紹介	紹介

上記以外に、3ヵ月以内に30%以上の腎機能の悪化を認める場合は速やかに紹介。
上記基準ならびに地域の状況等を考慮し、かかりつけ医が紹介を判断し、かかりつけ医と専門医・専門医療機関で逆紹介や併診等の受診形態を検討する。

腎臓専門医・専門医療機関への紹介目的(原疾患を問わない)

- 血尿、蛋白尿、腎機能低下の原因精査
- 進展抑制目的の治療強化(治療抵抗性の蛋白尿(顕性アルブミン尿)、腎機能低下、高血圧に対する治療の見直し、二次性高血圧の鑑別など)
- 保存期腎不全の管理、腎代替療法の導入

原疾患に糖尿病がある場合

- 腎臓内科医・専門医療機関の紹介基準に当てはまる場合で、原疾患に糖尿病がある場合にはさらに糖尿病専門医・専門医療機関への紹介を考慮する
- それ以外でも以下の場合には糖尿病専門医・専門医療機関への紹介を考慮する
 - 糖尿病治療方針の決定に専門的知識(3カ月以上の治療でもHbA1cの目標値に達しない、薬剤選択、食事運動療法指導など)を要する場合
 - 糖尿病合併症(網膜症、神経障害、冠動脈疾患、脳血管疾患、末梢動脈疾患など)発症のハイリスク者(血糖・血圧・脂質・体重等の難治例)である場合
 - 上記糖尿病合併症を発症している場合 なお、詳細は「糖尿病治療ガイド」を参照のこと

専門医療機関と診療日について

公立置賜総合病院	腎臓内科(水・木)	糖尿病内科(月・水・金)
	「かかりつけ医から腎臓専門医・専門医療機関への紹介基準」の『紹介基準』に該当した者	該当しない糖尿病患者
南陽矢吹クリニック	腎臓病専門外来(火・金)	米沢市立病院 腎臓内科(木)
三友堂病院	透析内科(金)	

*各医療機関へ患者さんを紹介される際は、事前予約を取っていただき、紹介状を持参して受診するよう御指導願います。詳しくは各医療機関ホームページを御参照ください。